

《芙蓉》

3 ふれし手のたちまち遠し酔芙蓉 きらら  
遠い記憶。老いを感じさせながらみずみずしい感性に惹かれる。(臺子)

6 耳打ちに唇の触れ花芙蓉 あかり  
妄想をたくましくする句。嫌いではない。(正人)

6 芙蓉咲き働く朝のはじまりぬ イネ  
キリリとした朝の始まり 身が引き締まります。(昭子)

《長》

4 わが長寿祝はれてゐる菊脛 遥子  
菊脛の先付けに始まる静かな長寿の宴ですね。(ようこ)

5 どぶろくを作る話がまた長く 葵  
「また長く」。微妙ですが、聞き手の愛情を感じます。(とちおとめ)

2ス 長居せるこの世と思ふ豊の秋 木聖  
「豊の秋」が希望を感じさせてくれます。(すみれ)  
長いような短いような。(雀)

《自由》

1 実山椒噛みてふる里近くせり いく子  
年齢と共にふる里を想うことが多くなりました。(あさぎ)

3 露けしや芝生の隅の三輪車 みさこ  
一日中遊んだ三輪車、情景が目には浮かぶ。(なのはな)

1 鉄棒のおひかぎつつ秋の空 えりこ  
鉄棒の匂いと、逆上がりを思い出しました。(みさこ)